

## 多摩区登戸新町において発生した刺傷事件に関する本市の対応

### 1 事件発生後の主な対応内容

本件事件の発生直後から、関係局区が連携して情報収集や共有を図りながら、被害者の救助活動及び地域住民の皆様と連携した子どもの見守り活動、カリタス学園及び周辺公立学校の児童・生徒を中心とした「こころのケア」に向けた調整・対応等を行ってきました。

#### (1) 救急対応

##### ア 消防局

119番入電後、傷病者多数のため大規模救急出場に切り替え、合計28隊、89人で活動し、市内4救急病院に19人の傷病者を搬送

##### イ 健康福祉局

川崎DMAT3隊（日本医科大学武蔵小杉病院2隊、聖マリアンナ医科大学病院1隊）が活動

##### ウ 病院局（市立多摩病院）

医師2人を発生場所に派遣し、出勤途中の看護師1人も加わり、トリアージ及び処置等を実施。同院においては、5人の搬送を受け入れ、処置治療を実施（うち3人が入院）。

#### (2) 発生直後における周知及び安否確認

##### ア 市民文化局

防犯アプリ「みんパト」により、事件概要等を配信

##### イ 多摩区役所

発生後、近隣保育園29園に、散歩等外出を控えるよう電話連絡。その後、区内全保育園（82園）に、「容疑者確保」等の状況をメールで配信

##### ウ 教育委員会事務局

近隣の学校（小学校4校、中学校3校、特別支援学校2校）に対して出欠状況等を確認。また、市内公立学校の管理職あて、情報提供と注意喚起の実施

#### (3) 見守り、こころのケア等

##### ア 市民文化局及び各区

地域パトロール活動の強化や、青色回転灯パトロール車による登下校時におけるパトロールの実施

##### イ 教育委員会事務局

発生当日、安全確保や心的ストレス配慮などのため、近隣小・中学校について、

教職員同行による方面別一斉下校を実施

ウ 健康福祉局

カリタス学園小学校と「こころのケア」に関する本市の今後の支援等について協議

## 2 本市における当面の取組

被害者及びその家族の方をはじめとした「こころのケア」に積極的に取り組むとともに、児童・生徒の登下校時の安全確保策など、地域の安全・安心を守るために必要な施策を随時実施してまいります。

### (1) 医療的ケア

ア 市立多摩病院

入院中の患者の処置・治療等を、医師・看護師等が連携し継続

イ 健康福祉局

搬送された患者の転帰の確認等

### (2) 見守り、こころのケア等

ア 多摩区役所

「多摩区子どもの安全確保のための連携会議」を多摩警察署と開催。子どもたちの安全・安心を確保するため、区役所、警察、関係団体が情報交換を実施して、必要な活動などを協議

イ 健康福祉局

カリタス学園より支援要請に備え、即時対応するための体制を整備。区役所等の相談状況に応じて、「こころのケア」についてのチラシ等の配布。また、個別相談対応について、情報収集及び整理に努め、さまざまな課題を抱えた方たちへの相談支援を実施

ウ 教育委員会事務局

本件事件の影響による心的ストレスの対応のため、教職員による登下校での見守りや声かけを積極的に行うとともに、巡回カウンセラーの派遣や、状態がよくない児童に係る個別対応等を実施

### (3) 備え

消防局及び総務企画局など

2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、多数の傷病者が発生している事案にも迅速に対応できるよう訓練、集団災害への対応を強化。併せて、医療機関、近隣消防本部や警察等の関係機関との連携も強化